

ビーンボウリング

ボウリングのピン配列を工夫し、横に並べ簡便化したものです。名の通り、ピンにボールが当たると豆がはじけるように、反転したり自動的に元にもどるようになっています。コントロールやバランスを競うゲームで、体格や体力に関係なく、子どもから高齢者まで手軽に楽しめるスポーツです。

場所(屋内)

- 体育館・公民館など

人数

- シングル 1人対1人
- ダブルス 2人対2人
- 団体戦 5人対5人

用具

- ピンセット
- ボール4 (赤・白各2)
- レーン (0.9m×10m)



競技方法(主なルール)

- ① プレーヤーは、1 フレーム 2 球ずつ投球します。
- ② 室内ボウリングとほぼ同じで、ボールを転がしてピンに当て、反転したピンの数を得点とします。
- ③ 反転した後、リバウンドして元に戻ったピンは得点にしません。
- ④ 基本的に3 フレームごとに3m、5m、7m と距離を変えて9 フレームの合計得点で競います。
- ⑤ 規程の回数を終了した時点で、得点の多い人が勝ちとなります。

[勝敗の決定]

- ・ 9 本ピンのうち、中央にある無表示のピンは、ストライクピンと呼び、最初の投球で反転した場合は、20 点 (ストライク) となります。また 2 投目でストライクピンを反転した場合はスペアとなり、10 点の得点になります。したがって、1 投目にストライクピンが反転し、2 投目で 5 の表示ピンが反転した場合の 1 フレームの点は、25 点となります。ストライクやスペアをとっても、次のフレームには加算されず 1 フレームずつの得点を合計して競い合うところが、一般のボウリングとは異なるところです。

[反則]

- ・ 投球動作中に投球ラインを踏んだり、越えてしまう。
 - ・ 投球後に投球ラインを越えてしまう (手がラインから出るのは良い)。
 - ・ 投球中、手から離れたボールが投球エリア外に落ちた (ライン上もファールとなる)。
- 以上の場合はファールとなり、取得した得点は無効とし、次の人に番が回る。

★レーンについて

0.9m×10m の専用レーンを使用し、基本的に3 フレームごとに5m、7m、9m と距離を変えて9 フレームの合計得点で競います。

